

いのち・つなぐ・ちから

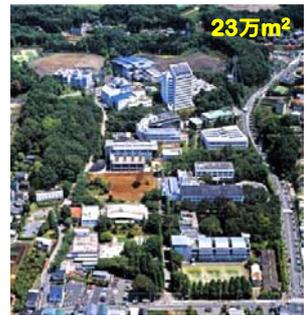
— 学生連携型地域防災拠点の構築 —

都心と郊外に拠点をもち理工系大学の特色を生かした学生支援として、学生と地域社会との連携により両キャンパスを**地域防災拠点**とする総合的な取組である。通常授業との関連の中で、学生が中心となって地域住民と協力して実用的な地域防災マップを作成する。また、災害発生時には学生の安全を確保し、安否確認が速やかにできるシステムを作ると共に、地域住民に必要なかつ適確な情報を提供し、避難民の誘導に協力できる体制の構築を目指す。地域住民との連携をとおり、**コミュニケーション能力**が向上するとともに、**社会貢献意識**を育む。普通救命講習の受講や、発災対応型防災訓練と新宿駅滞留者対策訓練への参加によって、実践的な**災害対応力**を身に付けさせる。防災マップ作成や防災システム構築に主体的に関わることにより、**問題解決能力**を涵養する。本取組によって、学生は安心して大学生活を過ごせるだけでなく、社会的ニーズに対応した人間力が育成される。



29階建て・高さ143m

(新宿キャンパス)

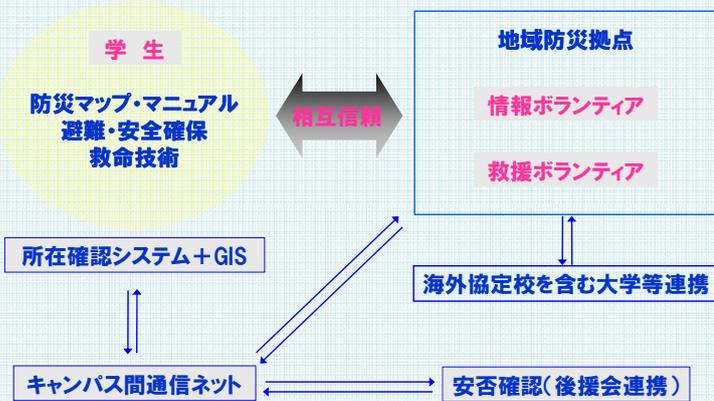


23万m²

(八王子キャンパス)

新たな取組・完成イメージ

新たな取組・具体的内容



- 発災対応型防災訓練の拡大実施
- 新宿駅周辺滞留者対策訓練の拡大実施
- 普通救命講習拡大・防災士講習の新規実施
- 通信ハード・ソフトの整備(後援会連携)
- 防災関連授業の充実
- 防災マップ・マニュアルの作成(地域連携の拡大)

総合研究所EECの教育への有効活用
地域防災拠点化(社会との連携強化)

グループセッションテーマ「大きな災害発生!リーダーとしてどうする?」

リーダーズキャンプ (2008.12.7)



普通救命講習(心肺蘇生法)



初めてさわるAED



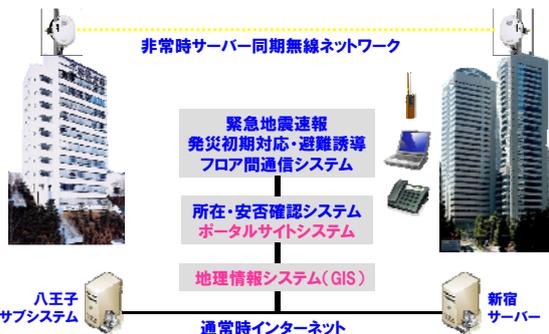
グループセッション



ポスター発表



新宿消防署の指導による普通救命講習に引き続き、テーマに沿って議論してポスター発表



大学後援会学生支援GP協力WG (2008.12.13)

非常時連絡体制検討

大学・後援会役割分担
後援会本部・支部役割分担

個人情報配慮方法研究
企業業務継続体制研究など

